

建材のアスベスト含有率測定 JIS 案 経済産業省



経済産業省は、建材製品のアスベスト含有率の測定方法に関する日本工業規格「JIS」の案をまとめました。作業が順調に進めば、3月下旬には制定となります。

アスベストを用いた建築物の解体が今後増加する見込みから、石綿含有率の分析方法を標準化することで、アスベストばく露作業の安全性向上につなげることを目的としています。

同案は、含有率を2段階で分析する方法を採用しました。1次分析で顕微鏡とX線などを用いてアスベスト含有をチェック。含有が確認されたときに、2次分析を行い、含有率を測定します。細部を詰めて新規格として制定される予定です。

測定の対象となる建材は、吹き付け材や内装材、床タイル、外装材、屋根材、煙突材、クロスなどで、建材以外のものに対応できるかどうかは、今後検討することになります。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料:2006年2月20日付 循環経済新聞

環境分析箇所 重田郁美